

酔狂会会則

第一条 本会は酔狂会と称す

第二条 本会は連絡先を東京都新宿区西新宿1丁目24番地2号とする

第三条 本会は野部研究室出身者による相互の親睦・提携を図ることを目的とする

第四条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う

1. 総会 年に1回（修士2年が率先して行う）
2. 幹事会 年に1回（総会前とし、各年度から1名選出する）
3. 名簿 年に1回作成
4. その他 幹事会にて別途定めるものとする

第五条 本会の会員は次の通りとする

1. 正会員 工学院大学建築学科野部研究室にて学士論文、修士・博士論文を取得した者
2. 学生会員 工学院大学建築学科野部研究室に在籍中の者

第六条 酔狂会の維持会費については次の通りとする

1. 目的 酔狂会会員への連絡、通信及び名簿の作成の費用に用いる
会費納入者には名簿を配布する
2. 会費 年間2,000円（総会時に徴収する）

あゆみのこと (第二話)

野坂龍彦(一)

前回までの粗筋

あゆみの店は二丁目仲通りの要小路という侘びしい一画にひっそりとあった。太字に入り立ての若造であった俺は、一回りも年の離れた遊び人の友人の背後から、狭い階段の壁に着古したセーターの肘を引っかけながら扉をくぐった。そこは異境への入り口であった。

昨晩初めて来た若造が今夜はひとりひよこり現れたという軽い驚きが、好青年風のあゆみさんとイガグリ頭のダンさんのおもてに一瞬浮かび、即座に満面の営業スマイルに塗り替えられた。冬至も近いとはいえ、まだ夜の街は目覚めていない。

慌ててカウンター奥の高い棚に置かれた有線放送(二)のセレクターをそれぞれで低く流れていた小節だらけの村田英雄(三)からエディット・ピアフ(四)に切り替えた。

「いらつしやあ〜いませ〜」

絡み付くような野太い不協和音が尾を引いたのを、今でも覚えている。

(第三話へ続く)

※ 第二話では「何となく、クリスタル(五)」もマツアオの「注釈過剰論文型私小説」という新境地を切り開いてみた。しかし、注釈ばかりでスジが一向に進まないのが悩ましいところ。読書子の感想や如何に。

注一 ペンネーム。本名、野部達夫。一九五八年栃木県に生まれたということにしては、実は東京生まれ。座右の銘は「人生、スリユギだよ(六)」

注二 当時、新宿の飲み屋街は関東系「日本有線」と関西系「大阪有線」が鏑を削り、電柱から電柱へと張り巡らされた配線を互いに切り合っていた。チャンネル数は十二であった。

注三 昭和四年九州に生まれ、浪曲師から歌手に転向。任侠映画にも出演。代表作は「無法松の一生」「人生劇場」「王将」など。平成十四年没。

注四 シャンソン歌手。一九一五年、パリに生まれる。代表作「愛の讃歌」は、妻子ある恋人マルセル・セルダン(当時ボクシングの世界チャンピオン)がニューヨークのピアフに会いに来る途上の飛行機事故による死の直後、レコーディングされたという。一九六三年没。

注五 田中康夫現長野県知事が一九八〇年、一橋大学在学中に執筆した小説。「文藝賞」受賞作。女子大生をモデルとしたこの小説は固有名詞と詳細な注釈が鏝められ、当時「ブランド小説」と呼ばれていた。

注六 味わい深いバイプレーヤー。左とん平が一九七三年にリリースした「ヘイ・ニュー・ブルース」でリフレインされる歌詞。当時自ら司会を務める深夜のお色気番組で、パツキンのチャンネル相手にシャウトし、一世を風靡。



第参回 醉狂会

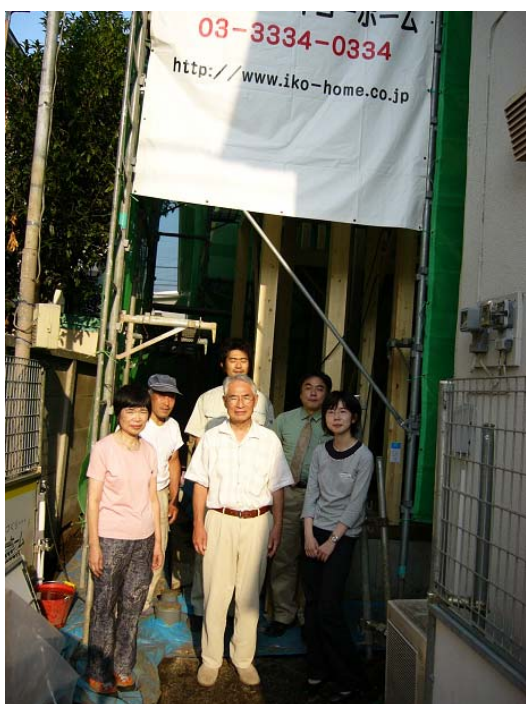
工学院大学 野部研究室

平成壹拾八年七月貳拾九日 閑催

近況報告・おぎそ

皆さんお元気でしょうか？おぎそは相変わらずです。
仕事も3年目に突入し、退社する人を見送ったり、後輩が出来たりして、
すっかり会社の人間になってきました。お引渡しのお客様も増えて、その人達
のためにも、もうちょっとがんばらなきゃかな、と思ったりしています。

プライベートでは、今フランスが私の中で熱いです。
ふと本屋で手に取った本、ドラトーザン著「パリジェンヌ流おしゃれな自分革
命」を読んで、フランス人の生き方っていいなと思ったからです。
勤勉で働き者の日本人が読んだらそりゃないだろって感じですが、私のような
怠け者にはとても魅力的に映ります。残業はしない、バカンスは長く、自己主
張はしっかりと。。素敵です。
また、「のだめカンタービレ」という漫画にはまりまして、（今かなり売れて
います。人気！）超個性的な音大生のだめがフランス留学して、さらにフラン
スいいな～なんて思っています。今度長くお休みが取れたら、フランス行きた
いと思います。



「日々前進」

野部研のみなさんお久しぶりです。

今、自分は今年の 2 月に前働いていたロフトを辞め、設計事務所で働いています。

主に、施工図を中心とした設計で、意匠図などの作図も多少やっています。

働きはじめてまだ四ヶ月ほどですが、施工図は本当に奥が深いです。

なんといっても施工図は建物に関わるすべての情報をかいていかなければいけません。

建具の納まりや壁の仕上げなど、より細部の箇所が重要になってきます。

でも、設計をやっていく上では、本当にいろいろなことが学べるし、基本的なことから身に付くことができます。だから、今は精一杯頑張っていこうとおもいます。

最近は、1ヶ月ほど三重の鈴鹿に行ってきました。工場の現場だったのですが、初めての現場で、何がなんだかわからず、またその工場の規模の大きさにも驚きました。

でも、実際の現場を見るのが一番勉強になります。

その物件はまだ竣工はしておらず、基礎を作っている段階でした。

ここでは本当にいい経験ができたと思います。

近況はこんな感じですが、日々頑張っていってます。

須藤雄一

先日、初めて担当者として設計(設備)した物件が竣工するとの事で検査へ。
雪国の自動車ショールーム。(写真)

大空間、床暖、融雪、井水利用、整備工場など設備的要素は割りとヘビー。
苦労した分、完成品を見た時は、それなりに嬉しかった。
愛着も湧く。

しかし、メーカーの「広告建築」は、15~20年くらいで取り壊す予定だそうです。
建築、構造、設備、皆で苦労して設計したのに何とも寂しい。
十数億円する「広告」。安い。高いか。
大事にして頂きたいものです。お施主様。

日々の仕事は景気が上向きのお陰か。忙しい。
最近では、我らの恩師が発明開発したフロアフロー(八王子実験室参照)を設計に盛り込んだ。
野部先生の偉大さを改めて知る。
設計以外にも、エネルギーコンサルの仕事もあって、なかなか楽しい。
修論を思い出す。

社会人として2年目。
まだまだ半人前以下。



その他最近の関心。

犬 フットサル 瀬戸内海 ラフロイグ 21世紀美術館 ストレイテナー 佐世保バーガー nismo
九州 ニック・パーク Weezer 中性脂肪 認知症 ジダン ペレットボイラー ROUND1 など。

真野智敬

平成 18 年 7 月 17 日

近況報告 OBOG 編

小木曾芳美 先輩

須藤雄一 先輩

真野智敬 先輩

日渡邦明 先輩

湯浅毅 先輩

清水賢 先輩

松島孝幸 先輩

青砥貴律 君

片山裕介 君

職人と

現場監督

どっちも我が儘

あと1点

免停目前

我慢の運転

現場へと

新宿界限

移動中

ちょっと寄り道

2415

湯浅 毅

昼休み

我がデスクにて

ねまる也

清水 賢

昼寝の大切さを知りました。



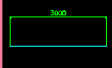
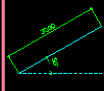

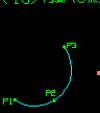

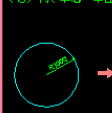
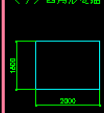
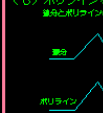
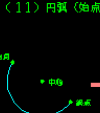




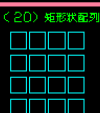
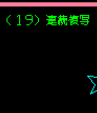





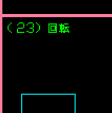
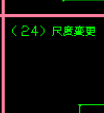
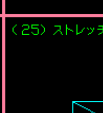





5時代に起きていると昼寝しないと午後の業務がしんどいです。寝られるときに寝るのが大事。当たり前だが勤務中は寝られないのでねえ。

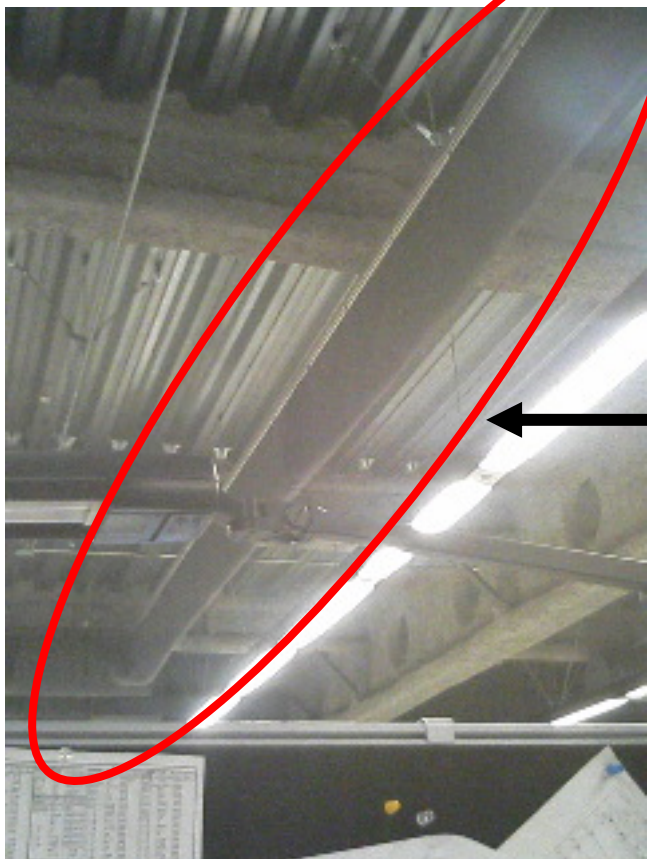
まだ自分の物件を持っていないので、割とゆっくりとした時間が多いです。設計職ということで内勤業務がほとんどで、現地調査や研修で外に出るのが楽しみです。

下の CAD データは入社して最初に行った CAD 練習です。

これに一日掛けたりしていましたが、懐かしい。はじめはゆっくり。

しかし、諸先輩方は残業がない日は無さそうで来年にはそうなっているのかもしれないです。そう言いながらも、週1日は飲んでいる先輩方が頼もしい。ちなみに私の隣にいる先輩は生中を2秒掛からず飲み干します。

練習シート				
(1) 自由線を描く 	(2) 差筋して線を描く 	(3) 長さを指定して線を描く 	(4) 長さを角度を指定して線を描く 	(5) 練習問題 下の図形を描いてみましょう 
(10) 円弧 (3点指示) を描く 	(9) 円 (換算・換算・半径を指定) を描く 	(8) 円 (中心・半径を指定) を描く 	(7) 四角形を描く 	(6) ポリラインを描く 異なるポリラインの動きを確認しましょう 
(11) 円弧 (始点・中心・終点を指示) を描く 	(12) OSNAP 	(13) 練習問題 	(14) 定常OSNAP 	(15) 削除 
(20) 矩形状配列複写 	(19) 差筋複写 	(18) 複写 	(17) 練習問題 	(16) 移動 
(21) 円形状配列複写 12等・360度・回転なし 	(22) ミラーコピー 逆転・MIRTEXT) を0にして描きましょう 	(23) 回転 	(24) 尺度変更 	(25) ストレッチ 
(20) 複写 	(29) 複数のトリム 	(28) トリム 	(27) オフセット 	(26) 練習問題 



ソックフィルタ

しぼんでる
ソックフィルタが

残業だ

(只今拾九時：)



ふくらんだ

ソックフィルタが

延長戦

(只今式拾時：)

松島 孝幸

近況報告書

日渡邦明

お久しぶりです。先生、研究生のみなさん、お元気でしょうか？最近急に暑くなってしまいましたので体調を崩して論文に影響が出ることをないように注意しましょう。

さて、私の近況報告ですが、3月に弟がスキーで怪我をして入院してしまいました。左足の膝にある4本ある靭帯の内、3本を切る重症です。手術も小さいものを含めて3回行い、現在はリハビリ中です。（8月には会社に復帰予定）そんなわけで私は弟のお見舞いに通ったり、入院に必要な書類等の作成の手助けやお見舞いに来てくれた人への案内等で忙しい日々を送っておりました。ようやく復帰の目途が立ち安心している所です。

入院中は、会社の方でも心配して弟の上司の課長と部長がお見舞いに来ていました。

課長 「や~、H渡君、大丈夫か？」
弟 「はい、何とか。」
課長 「君は忙しかったんだからたまにはゆっくり休むといいぞ。」
弟 「はい、早く直して会社の方に復帰します。」
課長 「ところで、休みはどうする？君は3月になるのに年休がたくさん余っているだろ、入院中は年休処理しとくか？」
弟 「そうですね、じゃ~まだ今年度取っていない夏季休暇でお願いします。」
課長 「……。」
部長 「……。」

※個人情報保護法により一部伏字

弟も会社もしょうがないな~、弟の課長は部長に怒られたらうな~。

今は、弟も元気になり「暇だ、暇だ。」と普段口にしない言葉を書いて「何もしないニートって職業は大変だな~、何もしないなんてとても耐えられないぞ、ニートって忍耐力が必要だ！」なんて事を言っています。

簡単ですが私(?)の近況報告を終わりにします。



小冊子の原稿

俳句

・学生時 思い出すのは また今度

お久しぶりです。大学を卒業して4ヶ月が経ち、社会人としての生活にも少しずつ慣れてきた最近です。社会人になり、よく学生の頃は良かったと思返すことが少し前まで多かったのですが、そんなことを考えてばかりでは、前に進めないなので少し自粛している最近です。

でもやっぱり学生時代は良かった！学生の皆さんは、卒論等で忙しいかと思いますが、思う存分、学生生活を楽しんで下さい。

片山裕介



近況報告 修士編

修士二年

古川悠

新川隆将

矢沢敦

吉澤茂之

修士一年

恩賀彩子

芳賀裕輔

吉川佳江

飛行機に乗ること約 17 時間。フランスに早朝着いた我々は、そこから更に乗り継ぎ便で約 2 時間。合計 20 時間近く飛行機に乗る、という苦行の果てにポルトガルの空港へと辿り着いた。日差しは容赦なく降り注ぎ、アスファルトを焦がす。気温は同時期の日本と比較して高いにも拘わらず、低い湿度のせいか日本より過ごしやすかったのを覚えている。ポルトガルで過ごしたのは 6 日間。初めての国際学会ということで緊張した場面しかなかったが、拙い英語と身振り手振りでこれを乗り切った（事にしておいて下さい）。日本の学会とは全く違う雰囲気になれつつ、数えきれぬ程の貴重な体験をした。ありがとう HB2006。

と思っていたら、6 日目の昼から皆と別れて一人きり。ここからもう一つの闘いが始まった。単独での周遊である。一人で旅する先を私はスペインのマドリッドとバルセロナに決めていた。ポルトガル～スペイン（マドリッド）は夜行列車で行くことになっていたが、発車時間が 22 時。駅に到着したのが 12 時。持て余す 10 時間…。



▲ 車内での一杯。肴はポテトチップス。

列車に揺られながら酒を飲み、眠り、目を覚ませばそこはもうスペイン。意外と快適な列車であった。マドリッドの駅に着いたのは朝。そこからタクシーにて宿へと向かう。駅を出た瞬間タクシーを発見。近付いて行くと運転手は気さくなおっちゃん。英語も少し喋れるとの事。スペインでは治安を気にしていたので、こりゃ運がいい。車内では片言同士で英語の会話が繰り広げられ、無事予約してある宿前に到着。ありがとうおっちゃん。一生忘れない。貴方に運賃ばられた事を…。

スペインと言えばパエリア。ということで食べました、パエリア。やはり本場のパエリアは美味しい。肉、エビ、貝など具が沢山。あと向こうでは主食はパンだったので久しぶりのご飯に感動した。やはり日本人はご飯から離れて生きては行けないということを実感。（あまりの美味しさに写真を撮ることを失念。残念。）

バルセロナに向かう高速鉄道に奇跡的に乗れ（ポルトガルから列車で国境を越えたときに時差を忘れており、マドリッドでは実際の時刻より一時間遅れて行動していた）、何とかバルセロナへ。スリの二人組と宿の前ですれ違いつつ、夜は危険だから早寝。食べ物は相変わらずサンドイッチだったが、旧市街とサグラダファミリアを見学出来たのでよし。

バルセロナから飛行機でフランスへ向かい地下鉄で最寄り駅まで。宿を探していると親切な初老の方が一緒に探してくれた。フランス侮り難し。何とか辿り着いた宿で皆と再会。ちょっとした感動。久々に使った日本語に驚愕。エトセトラエトセトラ…。

学会をはじめ、遠い異国の地での経験は一生忘れない宝物になるだろう。色々な人々に感謝しつつ、もし次があるならば是非ビジネスクラスで行きたいと願って、筆を置く事にします。



▲ 念願の大聖堂を撮影。

青砥 貴律



座右の銘
男なら、オンリーワンより、ナンバーワン

ひとつこと
自分で歩きます！
(でも、ぼく、一人じゃ立てないよ…矢沢さん)

短歌
仕事には、愛も無い、時間も無いけど、金はある
(字だいぶあまり)

俳句
新人は、何をやっても、許される

狂歌
狼は生きろ。豚は死ね！
(石原慎太郎 新潮社 より)

サッカーと共に

修士2年 矢沢 敦

四年に一度の世界的なお祭りである‘FIFA WORLD CUP’がジダンの退場劇という私にとっては悲し過ぎる出来事と共に先日幕を閉じた。この大会をどれだけ多くの人が観戦し、選手一人一人のプレーや試合結果に一喜一憂したのだろうか？そして、「サッカー」というスポーツはなぜそこまで人を引きつけて止まないのだろうか？この問いに対する答えはきっとみなさまがそれぞれお持ちであると思うので、お会いした時に話させて頂くことにしたい。ここでは私が「サッカー」という旅に出た小学4年から今日に至るまでを述べことにする。この文で少しでも私のことを知ってもらえれば嬉しく思う。

場所さえあれば友達とボールを蹴り合っていた私は、‘キャプテン翼’の世界に憧れ地元のサッカースポーツ少年団に入団した。小学生の時は、サッカーの奥深さや難しさなどは分からず、ただひたすら仲間とボールを追いかけ騒ぎ合っていた。特に、県外へ試合のため泊まりで行った夜などは毎回大騒ぎをしていた。時には部屋の中で汗をかくほどミニサッカーをして怒られたり、好きな女の子の話やスケベな話で盛り上がり眠れなくなったりした。そんな小学生時代に学んだことは、集団行動での協調性や負けることに対する悔しさと勝つことへの執着心だろうか。そして中学生になった私は、結成されたばかりのクラブチームに所属した。クラブチームは学校の部活とは違い様々な学校からメンバーが集まってくるため、平日の練習は週に2回、19時～21時と遅い時間に行っていた。そして、土日は一日中試合や練習に明け暮れた。私はこの中学生時代にサッカーに没頭することでその面白さを知ったのだと自覚している。それを簡単に説明するならば、常に試合の状況を把握し頭を使い想像を膨らませ、その想像を11人の仲間と共有してゴールを目指すということだろうか。言葉で述べるのは簡単だが、実践するのは大変難しい。そのためにまずは、とにかく「個」を磨くこと。そして、戦術を共有するためのコミュニケーションを図ること。それから・・・ようやく奥が深いことがわかってきたのである。この難しさは計り知れない。だからこそ、ゴールの決まった瞬間の喜びは何とも言えないものがある。そんなサッカーの楽しさを知った私は、高校に入学してもサッカー部へ入部した。しかし、顧問の先生の考え方や暴力指導に耐えられず（理解できず）半年ほどで退部してしまった。それでもサッカーが好きだった私は、同じように退部した5人ほどの仲間と当時はまだ競技人口の少なかった「フットサル」の愛好会を結成した。それまでとは活動環境が大きく違い、練習場を予約したり、練習メニューを考えたり、勧誘用のビラを配ったりとすべて自分達で行わざるを得なかった。そして何とかチームとしてまとまってきた3年の春に、東京で行われた大会に参加し準優勝という結果を残した。決して大きな大会ではなかったのだが、あの時の達成感を忘れることはないだろう。昨年母校を訪れる機会があったのだが、私達の作った愛好会が今では部となり部室まで設けられていたのに驚いた。そして、活動している後輩に会って話をした時には、不思議と喜びがこみ上げてきた。大学に入学すると、サッカーサークルに入ったが活動をあまりしていなかったのでやめてしまった。それから3年余りサッカーから離れ燻っていたのだが、野部研に入り真野先輩からフットサルチームへのお誘いを頂き再びフットサルを始めた。それから、多くのチームと試合を重ね、今ではチーム代表をやらせて頂いているだけでなく、他のチームからもお誘いを受け3チームに所属している。フットサルを通して、普段の生活では知り合うことができないような方々と出会い交流を深めている。これぞ「ねずみ講ならぬフットサル講」（○本設計社長コメント）である。写真は、フットサルで知り合った仲間と二人で沖縄へ行き建物探訪しつつ、極秘(?)トレーニングを行った時の写真である。

まとまりがなく非常に読みにくい文章になってしまったが、読んでお分かりのように私はサッカー‘バカ’である。しかし、バカになれる何かを持つことは非常に大切なのではないかと勝手に思っている。私にとってサッカーは喜びを与えてくれるものであり、多くの人と出会うチャンスを与えてくれるものだ。そういう意味でサッカーを「旅」と表現した中田英寿氏の気持ちが分かるような気がして冒頭で引用させて頂いた。これからもずっとサッカーと共に生きていきたいと思う。

P.S. もしフットサルに興味のある方がおられましたら、声をかけて下さい。

男女問わずすぐにチームの一員になれますよ～～！！



沖縄の浜辺にて

今の自分

DM05072 吉澤茂之

研究室に入り、1年が経過しました吉澤です。みなさん、覚えてくれましたでしょうか？今では無事研究室になじみ、もう何年もいるのではないかとと思うほど、みんなと親しくさせていただいております。



現在は、報告書に、卒論の指導に、修論にとっても忙しい毎日を過ごしています。来年から就職なので、遊べるのは今年だけ！と世間では言いますが、・・・まあ、そんなこんなで毎日を過ごしています！

さて、人生楽しまなければしょうがない、ということで明るい話をしましょう。私たち修士2年は、先月学会でヨーロッパに2週間行ってまいりました。海外なんてアジア（香港）しか行ったことがなかったので、ヨーロッパにしかも2週間だなんて、とても想像も付かず、期待と多少の不安で胸がいっぱいでした。



経路でいえば、日本→フランス→ポルトガル→フランス→イギリス→ベルギー→フランス→日本、という強行スケジュールで旅をしました。

ポルトガルの綺麗な町並み、イギリスの賑わい、ベルギーの人の優しさ等心に残るものは数多くありました。しかし、何はともあれ、全体を通していえることは、“ヨーロッパは暑い！！”とにかく暑い！！直射はおそらく軽く30℃を超えている。たしかに湿度は低いためじめじめ感はないが、もう日焼けが凄い・・・目も開かない・・・。あと、食事は基本“肉”でした。。。あと、パンと、芋・・・もういや・・・。帰ってきて思ったことは、やはり日本食が世界一旨い！！っとまあ、楽しい毎日でした。フランスの税関ではビザを押してもらえずトラブったり、パリの地下鉄で絡まれたり、とはいえベルギーでは気のいいご老人が写真を撮ってくれたり、どの町に行ってもなぜか道を聞かれたり、ほんとに色々あった2週間でした。異国の文化にふれあい、その土地で生活するという事は、本当に為になり、今後の人生の糧になることであつたと思いました。



「最期の晩餐には何を食いたい？」

恩賀 彩子

今年上半期の映画「ダ・ヴィンチ・コード」、鑑賞していないためあらすじを述べることは出来ないが、ダ・ヴィンチの絵画にまつわる話だったと聞いている。そこで、ダ・ヴィンチの「モナリザ」に匹敵する有名な作品「最後の晩餐」にちなんだ話題を。

「最後の晩餐に何を食いたい？」と聞かれて何と答えるか、想像してほしい。そう質問された時、私はあまり迷わず「お菓子」と答えたのだが、皆に驚かれたのを憶えている。この時頭に描いた「お菓子」とは、おいしい“白玉クリームあんみつ”だったと思う。餡子と白玉に蜜をかけて…、と想像は膨らむばかりだ。梅雨が明け、夏本番になればより一層“白玉クリームあんみつ”がおいしい季節になるだろう。 ああ、本当に食べたくなってきた。

最期の晩餐の品がお菓子ということからも分かるように、私は甘いもの（お菓子）が大好きである。ご存知の方も多いかもしいが、常に傍らにお菓子を置いておきたい。自宅には頂き物のお菓子から、家族の誰かが購入したお菓子、そして私が購入したお菓子を常備。鞆の中には車内でも目立つことなく食べられるように飴などを常備。そして野部研の私の机の上にはお菓子boxを常備（常に補充）。まあ、お菓子と一言でいっても和菓子や洋菓子、飴、チョコレート、グミ、ガムなど様々である。

和菓子は四季折々の風情を表すお菓子であり、見ていてとても可愛らしい。夏目の今なら金魚などを表現したものだろうか。洋菓子は季節の果物をふんだんに用いたケーキが美味である。最近食べたマンゴーとパッションフルーツのケーキ、…おいしかった。そして気軽に食べられる飴、チョコレート、グミ、ガムは次々と新製品が発売され、その度に気になってしまう。製菓会社の戦略にまんまとはまっている。

しかしそんな私に最近大きな出来事が起きた。歯医者をそれ程嫌っていない私は年1回定期的に通っている。その甲斐あってかこれまで虫歯になることはなかった。そして小さな自慢でもあった。だが、卒論やら何やらで、一年半ご無沙汰していたのだ。いつものように「虫歯はないですよ」といわれるかと思いきや「先生、ちょっと診てください」と、歯科衛生士。“虫歯”という単語が頭をよぎる。「何かありましたか??」「うーん、虫歯だね」と、先生。…やっぱり。

幸いにも削ることは免れたが、今後虫歯撃退の為、対策を講じなければならなくなった。大好きな甘いものを断つことなど、できるはずもなく、これを書いている現在もチョコレートが手元にある。そこで残された方法はただひとつ、歯磨きを今まで以上に念入りすること。「幾つになろうとも、健康な歯で大好きな甘いものを食べる」これが最も大切なことだと改めて思ったのである。



煩惱が止まらない2006

M2 新川 隆将

常に己の物語はリアルタイムで進行しているわけであり、海外ドラマ「24 (TWENTY FOUR)」のジャック・パウワーのように息つく暇なしに走り続け戦っているとまではいかないが、自身のすべきことを着実にこなしているつもりである。昨年一年間は喉元過ぎれば熱さ忘れるという言葉のように短く感じてしまいがちだが、思い起こせば最も長い1年間であったように感じる。特に年度と年度の間が無いための気がする。

私の近況報告ということでこのA4版一枚にストーリーを書いているわけだが、研究内容のみ書き綴っても少々もったいない感があるため、最近、自分が熱中していることをランキング形式にしてお送りしたいと思う。

ここ数年間息抜きということのでかなりの数の映画を見つづけている。メインは洋画であり、ジャンルはホラーを除きすべて見る。視聴時間帯は概ね深夜～早朝にかけてである。特に海外ドラマシリーズにはまった時には、睡眠時間を削ってまでもすさまじいピッチで消化してしまう。某有名レンタルビデオ店にはかなりの金額を支払っているだろう。そんな私の最近(ここ数年)見た映画・ドラマランキングを紹介する(即興なのでかなりやつつけなのでご了承下さい)。

また、これだけではあまりにも内容が薄いので、05-06シーズン「グッ」ときた女性ランキングを番外編として掲載する。きっと05年度卒業のM島さんには分かっていただけのネタだと信じております。この内容に関する質問・ご意見・苦情・文句は一切受け付けません。みんな一度はやったことあるネタなのだから、引かないこと。

俺的映画ランキング

	タイトル	一言
1位	24全シリーズ	現在シーズン5待ち
2位	スターウォーズ Episode3	スターウォーズサーガの中で最高傑作と思う
3位	プリズン・ブレイク season1	現在はやり中
4位	ミリオンダラー・ベイビー	単純に考えさせられた
5位	バタフライ・エフェクト	おもしろい
6位	ファンタスティック4	スー・ストームが熱い、最高
7位	ラブ・アクチュアリー	感動した
8位	イン・トゥー・ザ・ブルー	セクシー――
9位	この森で、天使はバスを降りた	泣いた
10位	リトル・ダンサー	主人公の親父に感動した

05-06シーズン「グッ」ときた女性ランキング

		詳細
1位	ジェシカ・アルバ	ハリウッド女優
2位	国際学会会場の受付の女性	黒髪・ラテン系
3位	めざニューのアナウンサー	これからお休みになる方も、これからお目覚めになる方も・・・
4位	アネッサのCMのエビちゃん	CM限定
5位	22時頃バイト先に買い物に来る女性	単純に趣味
6位	アシュリー・シンプソン	友達が熱いっていったから。
7位	キリンレモンの黄色の水着の人	だれ？
8位	ビヨンセ	熱い！
9位	欧州旅行中すれ違った女性達	ヨーロッパ最高！
10位	ミス・アルゼンチン2006	ラテン系

エジプト旅行

吉川 佳江

これを逃したら絶対に行けない！！ ということで、今年の3月に思い切ってエジプトに行ってきました。「エジプト」と聞いて、まず思い浮かべるのはピラミッド？それともツタンカーメンの財宝？でしょうか。世界史の教科書に世界4大文明のひとつとして登場する古代エジプト文明が始まったのは紀元前3000年頃のこと。5000年という歳月を目の前にすれば、誰もがそのスケールの大きさに圧倒されます。

カイロ空港に着くや否や、早速、エジプト観光にくり出しました。エジプトの象徴、三大ピラミッド、人面獣身のスフィンクス、そして、ツタンカーメンともご対面しました。さらに、ラクダに乗っての市内観光。乗り心地は決していいとは言えませんが（背が高いせいか、振り落とされそうなくらい揺れ、且つ、臭い！！）、我慢すればかなりのんびりした観光が楽しめます。

そして、次に連れて行かれたのは市場です。カイロのハーン・ハリリー市場では、観光客目当ての金銀細工店やみやげ物店が迷路のような小さな道の両側にたくさん並んでいて、あてもなく路地を歩いていると、必ずエジプト人の店主が日本語で声をかけます。一度、商品を手にとろうもんなら、何処からともなく人が寄ってきて、勝手にスカーフを首に巻きつけ、気がつくとも人の体をベタベタと触っている。ガイドさん曰く、エジプトはイスラムの国だから、女性に声すらかけてはいけないのだという。まして、女性の体を触ることなんてもってのほからしい。だからといって、イスラム国じゃない観光客のお尻や胸をベタベタ触るなんて許せない！でも、Noと言えない日本人。完全に弱みにつけ込まれました。



腰を据えてじっくり交渉するのがエジプト流の買い物術。とりあえず、日本人ということで、高い値段でふっかけてきしたが、片言の英語で値切り交渉開始。これが非常に面白い。最終的には、日本のボールペンを非常に喜んでくれるというガイドブック情報から、ペンや手鏡や和風のハンカチなどで物々交換。これで交渉成立です。

街並みの綺麗なヨーロッパや南の島もいいかもしれませんが、一度はエジプトに行ってみる価値あります。

右の写真は最も巨大なピラミッド「クフ王のピラミッド」と呼ばれるもので、完成時には底辺が一辺230m、高さは146mを誇っていました。平均2.5tの石を約230万個積み上げて造られ、基底部に使われた石のなかには15tを超えるものもあるといわれているそうです。



報告：やはり、スフィンクスの向いている先にはKFCアリ（ちなみに2FはPizza Hutでした。）

近況報告 学部四年編

綾部佑太

大島教夫

大塚里佳

佐藤貴行

鈴木彰

中村笑美

中村北斗

橋本匠

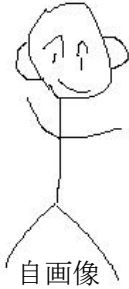
早川麻美

平川敏也

横山篤志

まずは以下をお読みください。

綾部佑太のデータ



性別：男
学部：2部建築学科4年
誕生：約生後7979日
研究：政府推奨冷暖房温度のイメージ（アンケートを用いて考察する）
趣味：妄想
尊敬する人：野部達夫教授、両親
悩み：研究室の方々にブラザーコンプレックスだと思われるかどうか
マイブーム：痛い行動・言動

綾部佑太に関するアンケート

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、以下のアンケートにご協力をお願い致します。
不明な点などはアンケート調査の担当者綾部までお問い合わせください。また、調査結果は学会発表等によって、広く社会に還元させていただく所存です。

あなたが思う綾部についておうかがいします。ふだん綾部と接する上でどのように感じておられるか、各設問に沿って、あなたの感じに最も近いと思われる言葉のところに○印をつけてください。

回答に際しては、次の点にご注意ください。

1. あなたご自身の感じているままと回答してください。
2. 最近の1週間程度を考えて回答してください。
3. 綾部が7月29日午後19時に回収に参ります。それまでにご記入願います。（当日ご不在の場合はテレパシーで送って頂ければ回収させていただきます）

1. 綾部の言動は気になりますか？

- ①気になる ②やや気になる ③どちらでもない ④あまり気にならない ⑤気にならない

2. あなたにとって、綾部はいかがですか？

- ①不適當 ②どちらかと ③どちらとも ④どちらかと ⑤適當
いえば不適當 いえない いえば適當

3. 綾部との友好はいかがですか？

- ①悪い ②やや悪い ③どちらでもない ④やや良い ⑤良い

4. 綾部に、ほこりっぽさを感じますか？

- ①感じる ②やや感じる ③感じない

5. こんなアンケートをやっている綾部との温度差を感じますか？

- ①感じる ②やや感じる ③感じない

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

近況報告
～アキハバラ編～

芳賀 裕輔

先日、秋葉原に研究資材の買出しに行った。そこは言わずと知れた電気街、マニアの殿堂(?)である。駅から電気街口に降り、中央の大通りを隔てた裏手に入った所に電子部品・無線関係等々を扱う店が軒を連ね密集していた。その一角のとある店に入ると、怪しげな電子部品等々が所狭しと並べられていた。アキバの猛者どもはその一つ一つを吟味し、何の躊躇もなく己の欲する部品のみを的確に手に取っていったが、素人目にはどれも似たり寄ったりで、ただの鋼の塊にしか思われなかった。また、店内で飛び交う会話はアキバの共通言語でも存在するかのような聞きなれない言葉が端々で飛び交っていた。

そんなわけで異様な雰囲気気圧されつつ勝ち得た戦利品は、本来の目的に比べて僅かばかりであったことは言うまでもない。

マニア(ここでは、ある意味では一点に集中して力を注ぐことができる人々と定義するが)がある目的を持って、アキバに集まるわけであるから、一帯が「そりゃエネルギーだわ」とか思いつつ、逃げ出すように帰ってきた次第である。



僅かばかりの戦利品

近況報告（！？）

大塚 里佳

こんにちは。 卒論生の大塚です。

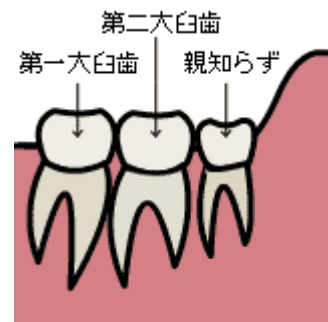
近況報告と題しましたが、最近の気になることを少々ご報告いたします。

I. あれは、大学1年の秋のことである。 歯茎に違和感が覚えたが、そのまま放置していた（勿論、歯医者は嫌いだあ！！）。 すると、右下から**親知らず**が生えてきた。 そして約2年後、なかなか**奴**の全体像が見えていないにも関わらず、今度は左下から**奴**は生えていたのだ（**奴**は、大体左右対称に生えてくるらしい…）。

そして1年後の現在は、**奴**らの姿は未だに全体像を現してくれない。 右は1/3、左は1/2…。 あと少しである。 ここまで来ると、何時拝見出来るか楽しみである。

皆さんの**親知らず**は、如何しています？

『**歯は、大切に！！**』と言いつつも、自分もそろそろ歯医者に行かなくてはならぬ…。



II. 最近めっきり**体力**が低下してきている。 こんな事を年上の方々に言うと、『二十代そこそこで衰えを感じるのは早すぎる』と言われるが、数年前の十代であった学生生活と比べると、やはり何かが違う（お酒を飲むようになってから尚更だが、止められない）。 そして先日、最も驚くべきことが起こった。 部屋の大掃除をしたところ 2日間**筋肉痛**に悩まされた。 たかが掃除をしただけ筋肉痛とは…、本当に心が痛い。 それに、通販テレビ番組で**健康グッズ**などが出ていると、ついつい魅入ってしまう自分に気付く。 辛い…。

まあ、ここまでくると何故体力が低下しているのかは、容易に想像できる。 それは、普段から歩いたり走らなくなったことだ（遅刻しそうでも、精々早歩き）。 また、年々運動をする機会の回数が減少しつつあることも原因であろう。



これは、本当にまずい！！ これから、何か手立てを考え実行しなくては、これから先（特に卒論）の大詰めの時期は辛いはずだ。 少し、探してみるかな…。

何より健康第一であるからな…。

これからの学生生活

佐藤貴行

学部4年 佐藤貴行です。

残りの学生生活もあと一年をきり、もう前期も終わろうとしています。

僕の学生生活といえば…

大学から一人暮らしを始め、3年間授業に出て部活へ行くという生活を送ってきた気がします。小学校から始めたサッカーを大学でも続け、3年では主将も務めました。怪我をして満足のいくプレーをすることはできないですが、現在も9月の最後の大会に向け練習中だけど卒論がスタートしてどうなるか…自慢できるものといえばサッカーを15年間続けてきたことかな、卒論が終わった時に自慢できるものが増えていけばいいなあと思います。

卒論は空調イスを担当しています。

4月に野部研究室への配属が決まり

卒論がスタートしました。

新しいものを考えることは大変楽しいことだと思っています、しかし辛いことです。

もしかしたら楽しいと思わないとやっていけないからかもしれませんが……。

今もこの分を書きつつ、どうしたものかと悩んでいます。

これからの一年間、楽しいこと、面白いこと、苦勞すること等などたくさんのが起こると思いますが、

先輩方に迷惑かけることのないよう努力していき、すべて楽しんでいきたいです。





近況報告

野部研究室 学部4年 鈴木 彰

こんにちは。埼玉県の片田舎に住む鈴木 彰です。どのくらい田舎かというと、家の周りは田んぼばかりで、コンビニへ行くのにも自転車で10分かかるほど。ヤバイですよ。

こんな田舎者のつたない文ですから、読んでいただかなくてもけっこうですよ。いやいや、ホントに平気です、全然無理なんかしてません。実はすごく読んで欲しいとか思ってないですから……。ごめんなさい、できれば読んでください！！

さて、くだらない上の文章は置いておいて、ちょっと真面目に自己紹介をさせていただきます。自分の特徴を一言で言うならば「おっさん」です。歳は今年で22になりますけれども、顔だけ見れば30歳でもいけるらしい。要は老け顔なんですよ。

「鈴木君って普通に25歳くらいだと思ってた」「えっ、まだ22歳なの?」、おとなしい性格も手伝って、そんなことを言われるのはもはや当たり前のこと。もう慣れました……。

ごめんなさい、ちっとも真面目じゃないですね。

趣味はバスケットをやること、読書、ギター、旅行、その他おもしろいことは何でも好きです。普段あまり何も考えていない僕ですが、楽しい日々を送るために趣味は充実させていきたいと考えております。現在カフェでバイト中として、たまに塾講師のバイトなどもしています。趣味が合う方、同じようなバイト経験をお持ちの方など、とりあえずお声を掛けていただければ幸いです。

研究内容についても少しお話させていただくと、温熱環境におけるクレーム発生のメカニズムについての研究をしていて、現在はアンケートづくりに精を出しております。クレームのメカニズムを解明し、心理的な面でも快適な空間づくりを……。あっ、ごめんなさい、なんか真面目になりすぎてしまったようで。笑

不真面目で、それでいて駄文でございましたが、最後まで読んでいただいた方ありがとうございます！感謝致します。まあ最後に言いたいのは、こんな僕ですがよろしくお願ひします！！ということです。よろしくー♪

近況報告

野部研究室 大島 教夫



ボンジョルノ〜♪ こんにちは、建築学科の大島教夫です。教夫と書いてみちおと読みます。初対面の人に正しく読まれたことはありません。もし読んでくれた方がいたら僕のその人に対する好感度は急上昇します。ちなみにパスタ屋でバイトしています。イタリアン大好きです。

現在の住まいは実家である埼玉県熊谷市。そう、夏にニュースでしょっちゅう最高気温を報道している暑い盆地です。毎日主に最強湘南新宿ライン(しかし人身事故は多し)に乗り、1時間以上電車で揺られて遥々新宿まで来ています。都会の人にはよく『そんな遠くからよく通っているねえ〜』って言われますが、僕の地元では1時間以上かけての通学は当たり前だったりします。

しかし最近その2時間弱かかる通学に限界を感じ始めています。もっと近くに一人暮らししたいです。あっ、さすがに1・2年生の時は八王子で一人暮らししていましたよー！！

あの頃はいろんな意味で楽しかったなあ。例え1限に授業があっても8時半に起きればOKだったので。ちなみに今1限授業の時は6時半起きです(涙)僕は朝が弱いので1限の授業はなるべく取らないような履修方法をしました。

朝弱いと言えば、僕は1歩間違えば野部研に入れなかったかもしれないエピソードがあります。あれは2年次の後期の定期試験期間の時。野部先生の授業『設備計画』の試験前日、僕は最初に授業を受けた時から先生に対して好印象を持っていたので、「この科目だけは今後の為にも良い成績取るぞお!!」と秘かに思っていました。だから持ち込みOKなノート作りを一生懸命やったり、調べ物をしたり、今までに習ったことを復習したりしました。しかし勉強を始めた時間が遅かったため半分徹夜みたいな感じになってしまいました。そして『少し仮眠を取ろう』と思ったのが間違えでした。1時間程寝るはずが大幅にオーバーしてしまい、起きたのは試験開始10分前!!かなり焦りました。1分で顔を洗い、2分で出掛ける準備をして、自転車を全速力で走らせました。結局間に合いましたけど、5分程遅刻。結果はというと残念ながらA(80点~90点)でした。ちなみに一番上はS(90点~100点)です。

まあでも運よく起きただけでも良かったです。もしもっと爆睡していたら、試験受けることさえできなかったのですから。なるべく徹夜は避けたいものですねえ~!!『計画はお早めに!!』です。

最後に卒論の話を少しさせていただくと、僕は実測班で『オフィスにおける執務者の行動調査』ということで執務者が実際にはどのような行動を取り、どのようなエネルギーの使われ方をしているかという研究をしています。まだ始まったばかりでわからないことが多いのですが、なんとか食らい付いていき頑張っています。『酔狂会』に参加して下さったOBの方々にもいろいろとアドバイスを聞いたら良いなと思っています。自分で言うのもなんですが、自称『お酒強し』なので、文字通り、酔って狂いたいと思います。野部研に入って最初に『礼儀』と『お酒の飲み方』を教わった気がします。かなりレベルアップしました。合宿で先生の隣に座り、お酒を相当飲んだので経験値もアップです。

こんな僕ですが今後も末永くよろしくお願い致します。最後まで目を通していただきありがとうございます。それでは失礼いたします。 チャオ~☆★

光と闇を扱う人

浅学な私の唯一の愛読書「ゲド戦記」がジブリっぽい人達によってアニメ映画化するらしいです。見たいやら、見たくないやらです。

私自身、この本から強く影響を受けています。

大魔法使いのゲドが人知れず闇と戦い、僕たちと同じように苦悩している事実、それが叙事詩（真実）として後世にのこる様子を描く。「ゲド戦記」の著者が詩人であることを窺わせます。淡々と描かれる大魔法使いの一生と大魔法使いを彩る叙事詩の折り返しは、文学ならではの表現で、私がこの作品を好きな理由のひとつです。

最近の映像表現は叙事詩と事実をごちゃ混ぜにしがちなので、ジブリっぽい人達が、この奥深い物語をどこまで理解して叙事詩の映像表現をしてくれるかが肝だなとか思いながら研究をしています。

そんなわけで、このまま「ゲド戦記」の流れを借りて駄文を書かせて頂きます。

「ゲド戦記」では、言葉の長がひたすらに物の名前を魔法使い見習いに教え込みます。何故ならば、物（人）の名前を正しく呼ぶことで、魔法をかけることができるからです。

よって、ゲドは竜と対峙したときも、竜の名前を呼ぶことに苦心するという恐ろしく地味な戦いを繰り広げます。

そして、物語のテーマというべき、行使する力のバランスについても、著者は作中の詩で表現します。

ことばは沈黙に 光は闇に 生は死の中にこそあるものなれ
飛翔せるタカの 虚空にこそ輝ける如くに
— 『エアの創造』 —

渋い…

（中略）

そんなわけで、設計者はある意味で、「ゲド戦記」の魔法使いのようなものであるべきだと思います。人より多くの言葉を知り、それを扱う智慧を身につけ、人と同じく力のバランスをはかる。沈黙のオジオンがよく言ったものです。そんな設計者になれたらなあとか思いながらバイトしています。

力の二面性である光と闇に関して、色々な文章があろうかと思いますが、私は「ゲド戦記」で描かれる思慮深い魔法使いに一番、好感を持っていますとか思いながら人が寝静まった深夜にスケボーの騒音をかき鳴らしたりしています。ダメだコリヤ

駄文にお付き合い頂き、ありがとうございます。

酔狂会資料

橋本 匠

室内環境に関するクレーム発生メカニズムを研究している4年の橋本です。研究については最近中間発表が終わりようやく一息つけるのかと思ったらつけないで大変です。そして研究は大変だとようやく感じてきたところです。研究の話で引っ張りたいたのですが正直何書いていいか分からなかったなので、とりあえず自分の趣味について書こうと思います。

今の一番の趣味は音楽鑑賞です。いろいろなものを聞いていると自分では思っていたのですが、周りに聞くと結構偏っているらしいです。大好きな **Beatles** と **Oasis** の周辺はよく聞いています。あとは“はっぴいえんど”とか“吉田拓郎”とか“ゆず”とか、そんなのが好きな部類です。スポーツも好きです。サッカーは浦和レッズファンです。最近忙しくて見に行けてないのが非常に悲しいです。野球はロッテファンです。最近強くなってとてもうれしいです。でも最近出てきた若手がよく分かりません。というかたいていの球技はみんな好きだと思います。当然やるのも好きです。

文才がないのかただ眠いだけなのかは分かりませんが文章が続かないので最後は自分の好きなCDでサヨナラとさせていただきます。それでは今後ともどうぞよろしく。



近況報告

野部研4年 早川麻美

研究テーマは「ファサードデザインの定量評価システム」です。

ファサードをどうやって評価しようかという研究です。

矢沢さんと暗中模索でがんばってます。

夏になって、だんだん研究が忙しくなってきました。

バイト魔の私にとって夏稼げないのは少々きついです。

でも最後の学生生活になるので

いっぱい稼いでいっぱい遊びたいです。

もちろん研究もやりますが…。

来年の今頃には、

某ゼネコンでバリバリ働いている予定なので

もしどこかで逢ったらよろしくお願いします。

研修・・・

中村笑美

最近、私は会社の研修に行ってきました。

その内容は商店街活性化イベントの手伝いでした。

朝、9時集合で家を7時に出発だったので朝が苦手な私はとてもとてもきつかったです。そして、10時からイベントの開始です。10時から12時までは絶え間なくお客さんが来て、汗だくでした。

1時になったらお昼休憩です。商店街のパン屋さん、お肉屋さんのコロッケなど食べたいものたくさんあったのですが、結局マックで過ごしていました。コロッケ食べればよかったなあ。。。

1時半から仕事再開、しかし3時までは、ちらほら人が来るくらい。

そして、3時からまた怒涛のように人が来てしまいました……。3時から6時までの3時間は「こんにちは!!」、「ありがとうございました!!」としゃべり続けました。いつのまにか8時になりイベント終了です。

この1日でおばあちゃんから子どもまでたくさんの人とふれあいました。「ありがとう」と言ってくれる人もいれば、文句を言っていく人など様々でした。普段のアルバイトではできない経験ができたと思っています。

たった5日間でしたが社会人の大変さを実感した日々でした。

イベント中ペットと一緒に来るお客さんがたくさんいました。どの犬もかわいかった！ミニチュアダックスが1番かわいいかなあ。



近況報告研究

d 3 0 2 4 0 8

横山篤志

研究目的

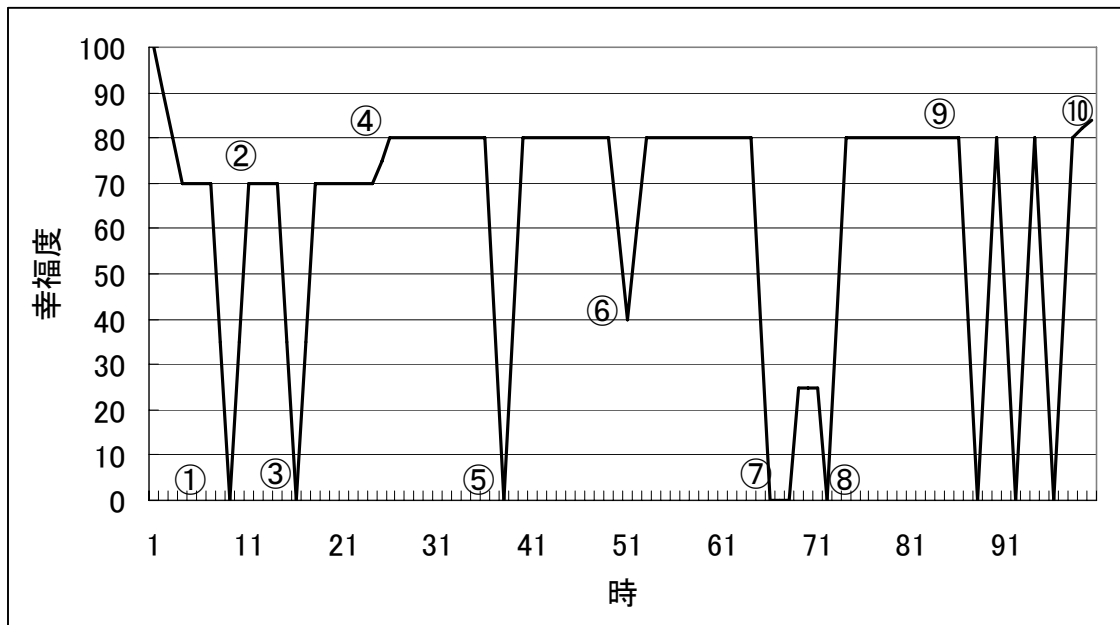
古きをあたため新しきを知る

自己紹介

横山篤志 誕生日 1983年4月25日 嫌いな食べ物 セロリ

好きな食べ物 お赤飯 鳥のから揚げ 弱点 歯医者

自分録



- ① 歯が折れる ② 中学入学 ③ 歯が折れる ④ 高校入学 ⑤ 歯が折れる
⑥ 大学入学 ⑦ ノーコメント ⑧ 歯が折れる ⑨ 海外逃亡 ⑩ 凱旋帰国

結果

三年に一回くらい歯が折れる
思いつくのは歯が折れるくらいしかない

結論

まあまあ楽しい人生だ。

近況報告 学部三年編

石田か奈元

伊藤冴香

笹沼純

藤脇啓太

田中光太郎

中田高志

久田信介

久名木俊宏

渡辺愛太

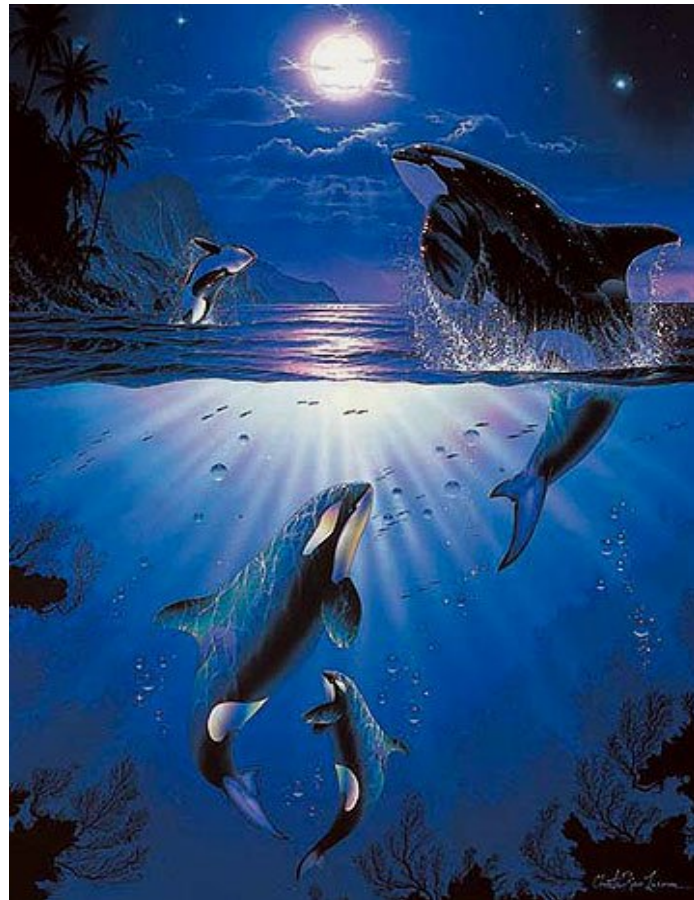
自己紹介

石田かなえ

私の好きなことには共通がないです。
大人数で飲み会や旅行に行くことも好きで、逆に一人で難しい問題を解いたりパズルなど地道に結果を導いたりするようなものも好きです。興味があることに限ってかもしれませんが、“考える”ことが好きみたいです。

セミナー生として野部研究室に入るにあたって、今、不安や期待でいっぱいです。不安なのは、頭で考えたことが理想としてあるなら、それを現実に創造できるのかということです。期待は、新しい人たちと出会い、話していく上で、どれだけ自分の視野を広げられるかです。たくさんの人と話、討論をしていきたいと思います。

自分の知っているセミナー生を見ると、自分の独特な世界を持った人たちがかりで、研究にどう影響していくのか予測がつかない分、すごく楽しみです。先生・先輩たちに多くを学び成長していければと思います。



ジグソーパズル ラッセン

折れない心



4年 平川敏也

近況報告

笹沼 純

最近の私は、課題の大量発生で軽い引きこもり状態…… 学校と家の往復の毎日。

これでは本当に引きこもりだと思われてしまいますが、小学校から高校までは、毎日のようにサッカーで汗を流していました。なので、今は体を動かしたくて仕方がない！特にサッカーがしたい！！八王子の時は、月に何回かは出来ていたのだが、大都会にはサッカーグラウンドを作れるほど土地があるわけでもない。フットサルなら小さいスペースがあれば出来るが、私は大きなグラウンドを駆け回りたいのです。



3年になり八王子関門を突破し新宿校舎に来たのですが、噂では新宿校舎にある体育館は小さいとのこと。しかし、言ってもそこまでではないだろうと友達と体育館を見に行ったのですが、体育館の小ささに絶望…唯一の運動機会である体育も取るのをあきらめました。

そんなことで3年の前期が終了。終わってみれば忙しいまま終わってしまった感じ。まあ課題の合間で息抜きをしてはいたのですが。息抜きをしなかったら頭がおかしくなってしまうようになるので。

あと、3年になってから人生初の電車通学になりました。想像では楽なイメージを持っていました。しかし、私の使う電車が通勤時の朝には満員以上になることで有名らしく1限のあるときには、その満員電車にモミクチャにされながら登校しています。人混みが好きではない私には、その日は苦痛の日々です。

最近の私はこんな感じですが、日々新たな知識を得ながら、友達にも恵まれ楽しく過ごしています。社会人になったらもっと遊べなくなるので、今のうちに暇を作って、今にしか出来ないことをやりまくって楽しかったと思える大学生活にしたいです。

自己紹介

- ・ 藤脇 啓太 (20歳)
- ・ 1985年12月6日生まれ (A型<->)
- ・
- ・ スポーツ：中学時 陸上 、高校時 テニス 、現在 特になし
- ・ 趣味：運動、競馬、釣り etc

history

東京国立市で生まれ、転勤族であったので幼くして、愛知県に移住した。その後、毎日自然の中で虫を取り、川には行って魚を取り、今では考えられない生活をしていた。小学三年のとき東京に帰ってきて、違いに衝撃を受けた、近所付き合いの無さ、そして花粉症をわずらい、それを乗り越え今にいたる。

最近の出来事

最近テスト勉強のため、遊ばないで過ごすつもりだったが、時間に余裕があり暇だった。そして昼寝していると、急に目が覚めたが体が動かない、これは金縛りなのだろうか、助けを求めようとしたが声が出なかった。その後気がついたらまた寝ていた。



最近コンタクトで
すが基本的にメガ
ネ好きです。

建築学科3年の田中光太郎です。

まだこの研究室に入ったばかりなので一体なにを書けばいいのかわかりませんが、とにかくこの研究室でさまざまなことを学びたいなと思います。具体的に今どんな事をやっているかという面接のときに野部先生に本を読みましょうとご指導を受けたので夏目漱石を読んでいます。まだ序盤なのですがさすがは夏目氏、というのが私の感想です。つまり卒論で何をやろうかというような段階までまだきていないというわけです。そこで夏休みがありますのでその時間をうまく利用して自主的に建築または環境設備に関する理解を深める、そして息抜きのため大いに遊ぶのがこの夏のプランです。

よろしくお願ひします。

最近の出来事

伊藤 冴香

ついこの間20歳になったと思ったら、数日前また誕生日を迎えてしまいました。この1年間ほぼ毎日のように学校に行き、課題に明け暮れていた気が・・・八王子校舎で暮らしていたといっても過言ではありません。このままだと一瞬で青春は通り過ぎていくと不安で祖母に言ってみると、87歳になった祖母は今でもまだ、気分は女学生だと・・・。少しでも悩んだ自分が恥ずかしい・・・

ところで私には年の離れた兄弟がいて、すでに2歳の甥がいます。最近はその写真のような建設車両が大好きで、本や

おもちゃを集めるようになりました。

まだショベルカーやクレーン車などの言葉をお話することができないため、建設に用いられる車両を全て総称して「おっきい」と呼んでいます。

なぜ「おっきい」と呼んでいるか・・・

これは、大人たちがショベルカーなどを指差

して「うわぁ～大きいね！」と言っていたからだと気づきました。子供は普段私たちが何気なく話している言葉や口癖をよく聞いているみたいです。うかつに変なことを言えません・・・



そんな甥が最近覚えたこと、「世界で1番おっきい」や「アースドリル堀削機」を私に教えてくれました。・・・アースドリル・・・??? 2年の後期テストでたしかアースドリル工法がでて、苦戦したような・・・。もっと早く教えてくれれば良かったと悔しさが込み上げてきました。

建築を学んでいる今、色々教えてくれる甥ができとても心強く思うこの頃です。



自己紹介

久田 真介 (ひさだ しんすけ)

高知県生まれ

2歳で神奈川県に移住

1986年2月20日

うお座

A B型

神奈川県立上鶴間高校卒業

指定校推薦で工学院大学に入学

趣味：剣道

最近の出来事：自転車2台紛失

自己紹介

久名木 俊宏

建築学科建築学コース3年久名木です。
愛知県出身、18年間愛知だけで暮らし続けた純粋な名古屋大好きっ子です。

この苗字は初めて会う人には クナキ だとか クメキ だとか クサナギ だとか必ず間違えて呼ばれてしまいます。

ヒ サ ナ ギ
僕の名前は **久 名 木** です。 ぜひ覚えてやってください。

この設備系の野部研究室に入ったのは、親に影響されたからなのですが、正直まだ設備のことはよくわからないというか全然わかりません。なので、これから1年間ヨロシクお願いします。

建築学科建築学コース3年

渡辺 愛太

趣味 音楽鑑賞 自転車による旅 読書 など

・・・

要領が悪く、頭の回転も鈍い私ですが、野部先生の人間としての懐の大きさに惚れ、今回セミナーに参加させていただくことになりました。

今回の酔狂会は、諸事情のため参加できないのが非常に残念ですが、熱き指導者野部達夫とよきアドバイザーの先輩方と少しでも親しくなり、いち早く野部研究室の精鋭部隊の一員に加われるよう、精進したいと思います。

どうぞよろしくお願いします。

始めまして。

中田 高志

今年セミナー生として野部研究室に入った、建築科建築学コース3年の
中田です。

読みはナカ **ダ** です。濁点をください。

東京生まれ、埼玉の川越育ちです。

川越は最近カップラーメンにもなったガンジャと世界一長いと
いう噂のフガシが有名です。 …それしかありません。

高校のころはラグビーをやっていました。ポジションはベンチです。

けどプロテインと筋肉トレのことならかなり詳しいです。

まだセミナー生として入ったばかりで正直何をやっていいのかわ
ぜんぜん分かりませんが、これからがんばっていこうと思ってい
ます。 どうぞよろしくお願いします。



中田浩二

第参回 醉狂会 会誌

平成18年7月29日 発行

编者 恩贺彩子

発行所 工学院大学野部研究室窓際印刷所
〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2 A-2415
電話:(03)3340-3438
<http://www.ns.kogakuin.ac.jp/%7Edt13006/>

酔狂会誌発行に寄せて

野部達夫

「書を捨てよ、町へ出よう」とは、早世の劇作家にして歌人であった寺山修司の代表作だが、もし今の世に存命ならば、刺激と情報に翻弄される現代人へ送るメッセージは何であろうか、などと取り留めもないことを通勤の地下鉄で考える。書物も所詮バーチャルな世界ではあるが、混沌とした森羅万象を文字の羅列に置換するプロセスは思考を明晰にし、また、背表紙をつけて並べた書物は、デザインや手触りによってインデックスをつけた頭脳の外部メモリとして機能する。もはや書籍も電子化される時代であるが、本来、書物という実体はきわめて人間にふさわしいスケール感を持つものだ。

諸君。本を読むべし。そして、文章を書くべし。日記でもいい。ラブレターならなお結構。人の気持ちを動かす文章を書こうとすれば、自ずと気合いも入るといふもの。小誌もそんなきっかけにでもなれば、嬉しく思う。

